

第147回 日商簿記検定試験 2級 一商業簿記一 解説

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

第1問 仕訳問題

1. 増設工事および建物の取壊し

(1) 増設工事

工事代金の手付金は建設仮勘定で計上されているため、当該勘定から建物および修繕費に振り替える。

(借) 建物	6,000,000	(貸) 建設仮勘定	7,000,000
(〃) 修繕費	1,000,000		

(2) 旧建物の除却処理

除却時点の帳簿価額を固定資産除却損として計上する。

(借) 建物減価償却累計額	1,000,000	(貸) 建物	1,200,000
(〃) 固定資産除却損	200,000		

※ 固定資産除却損：¥1,200,000 (取得原価) - ¥1,000,000 (減価償却累計額) = ¥200,000

2. 為替予約 (振当処理)

外貨建取引を行った場合には、通常、取引発生日の為替相場により換算を行うが、取引発生日以前に予め為替予約を行っており、振当処理による場合、為替予約相場により換算を行うこととなる。

(借) 売掛金	11,000,000	(貸) 売上	11,000,000
---------	------------	--------	------------

※ 100,000ドル×¥110 (為替予約相場) = ¥11,000,000

3. クレジット販売

(1) 商品販売時

(借) クレジット売掛金	206,000	(貸) 売上	200,000
(〃) 支払手数料	10,000	(〃) 仮受消費税	16,000

※1 仮受消費税：¥200,000 (販売代金) × 8% (消費税率) = ¥16,000

※2 支払手数料：¥200,000 (販売代金) × 5% (手数料) = ¥10,000

※3 売掛金：¥200,000 (販売代金) + ¥16,000 (仮受消費税、上記※1)

- ¥10,000 (支払手数料、上記※2) = ¥206,000

(2) 返品時 (解答)

返品が行われた場合、売上取引の取消を行う必要があるため、上記(1)の仕訳を逆仕訳により取り消す。

(借) 売上	200,000	(貸) クレジット売掛金	206,000
(〃) 仮受消費税	16,000	(〃) 支払手数料	10,000

4. ファイナンス・リース取引

ファイナンス・リース取引であるため、契約時にリース資産およびリース債務の計上を行い、計上額は利子込み法であることから、リース料の総額となる。なお、契約と同時にリース料の支払を行っていることから、支払額をリース債務から減額する。

(借) リース資産	2,400,000	(貸) 普通預金	40,000
		(〃) リース債務	2,360,000

※1 リース資産：¥40,000 (月額) × 60か月 (リース期間5年) = ¥2,400,000

※2 リース債務：¥2,400,000 (計上額、上記※1) - ¥40,000 (支払額) = ¥2,360,000

5. ソフトウェア

制作途中のソフトウェアに対する支出はソフトウェア仮勘定で計上されているため、当該勘定からソフトウェア等に振り替える。なお、4年間分の保守費用の支払部分は修繕費 (費用) の前払となるため、長期前払費用に計上する。

(借) ソフトウェア	20,000,000	(貸) ソフトウェア仮勘定	24,800,000
(〃) 長期前払費用	4,800,000		

第2問 合併、連結会計

問1 合併

ゴシック字はのれん勘定に記帳される仕訳を示す。

1. 合併仕訳

合併を行った場合には、吸収合併を行われた企業の諸資産および諸負債を時価で引き継ぐとともに、対価として当該企業の株主に対し、株式 (又は現金) を交付することとなる。なお、引き継いだ諸資産および諸負債と支払った対価との差額はのれん (又は負ののれん発生益) として計上する。

(借) 諸資産	40,000,000	(貸) 諸負債	10,000,000
(〃) のれん	5,000,000	(〃) 資本金	17,500,000
		(〃) 資本準備金	17,500,000

※1 資本金：@¥175 (1株当たりの資本金計上額) × 100,000株 (交付株式数) = ¥17,500,000

※2 資本準備金：@¥350 (1株当たりの時価) × 100,000株 (交付株式数)

- ¥17,500,000 (資本金計上額) = ¥17,500,000

※3 のれん：@¥350 (1株当たりの時価) × 100,000株 (交付株式数)

- {¥40,000,000 (諸資産) - ¥10,000,000 (諸負債)} = ¥5,000,000

2. のれん勘定への記帳 (貸方)

(借) のれん償却	1,200,000	(貸) のれん	1,200,000
-----------	-----------	---------	-----------

※1 株式会社東北商事に対するのれん償却 (前期繰越)：¥4,200,000 (のれんの前期繰越額) × 12か月 / 72か月 (平成28年4月～平成34年3月) = ¥700,000

※2 関東商事株式会社に対するのれん償却 (上記1.)：¥5,000,000 (のれんの当期計上額、上記1.) × 3) × 12か月 / 120か月 (10年) = ¥500,000

※3 のれん償却：¥700,000 (※1) + ¥500,000 (※2) = ¥1,200,000

問2 連結会計

1. 北陸ストア株式の取得 (個別財務諸表上)

(借) 子会社株式	32,000,000	(貸) 当座預金	32,000,000
-----------	------------	----------	------------

※ @¥2,000 (1株当たり購入額) × 16,000株 = ¥32,000,000

2. 決算時の評価 (個別財務諸表上)

子会社株式は、支配目的により取得していることから、取得原価をもって評価を行う。よって、決算において特に修正は必要ない。

(借) 仕訳なし	(貸)
----------	-----

3. 連結修正仕訳 (連結財務諸表上)

(1) 投資と資本の相殺消去

株式会社東海ストア (以下、「親会社」) の投資および北陸ストア株式会社 (以下、「子会社」) の資本は一つの企業集団と見た場合には、内部取引に該当することから相殺消去を行う。なお、連結財務諸表上、親会社および子会社の個別財務諸表を合算し、当該相殺消去を行うことにより、親会社の投資 (子会社株式) が子会社の資産および負債として表示されることとなる。

(借) 資本金	25,000,000	(貸) 子会社株式	32,000,000
---------	------------	-----------	------------

(借) 資本準備金	8,000,000	(借) 非支配株主持分	7,600,000
(借) 繰越利益剰余金	5,000,000		
(借) のれん	1,600,000		

※1 北陸ストア株式会社(子会社)資本: ¥25,000,000(資本金) + ¥8,000,000(資本準備金) + ¥5,000,000(繰越利益剰余金) = ¥38,000,000

※2 非支配株主持分: ¥38,000,000(子会社資本、上記※1) × (20,000株 - 16,000株) / 20,000株 = ¥7,600,000

※3 のれん: ¥32,000,000(親会社投資、上記1.) - ¥38,000,000(子会社資本、上記※1) × 16,000株 / 20,000株 = ¥1,600,000

(2) のれんの償却

(借) のれん償却	160,000	(貸) のれん	160,000
-----------	---------	---------	---------

※ ¥1,600,000(のれんの当期計上額、上記1)※3) ÷ 10年 = ¥160,000

(3) 非支配株主に帰属する当期純損益の振替

子会社の当期純利益のうち、非支配株主の持分に相当する金額を非支配株主に帰属する当期純利益として計上し、非支配株主持分を増加させる。

(借) 非支配株主に帰属する当期純利益	180,000	(貸) 非支配株主持分	180,000
---------------------	---------	-------------	---------

※ ¥900,000(子会社当期純利益) × (20,000株 - 16,000株) / 20,000株 = ¥180,000

第3問 損益計算書

1. 未処理事項

(1) 手形割引

(借) 当座預金	79,600	(貸) 受取手形	80,000
(借) 手形売却損	400		

(2) 売掛金の貸倒れ

当期の商品販売取引により生じた売掛金であるため、貸倒損失として計上する。

(借) 貸倒損失	9,000	(貸) 売掛金	9,000
----------	-------	---------	-------

(3) 保険金の確定

火災発生時において、滅失資産の帳簿価額が未決算として計上されているため、保険金確定額との差額は火災損失(又は保険差益)として計上する。

(借) 未収入金	700,000	(貸) 未決算	800,000
(借) 火災損失	100,000		

(4) 土地の売却

(借) 当座預金	190,000	(貸) 土地	120,000
		(借) 固定資産売却益	70,000

2. 決算整理事項

(1) 貸倒引当金の設定

(借) 貸倒引当金繰入	6,420	(貸) 貸倒引当金	6,420
-------------	-------	-----------	-------

※ {¥480,000(残高T/B受取手形) - ¥80,000(手形割引、上記1.(1)) + ¥680,000(残高T/B売掛金) - ¥9,000(上記1.(2))} × 2% - ¥15,000(残高T/B貸倒引当金) = ¥6,420

(2) 売上原価の算定

(借) 売上原価	330,000	(貸) 繰越商品	330,000
(借) 売上原価	5,450,000	(貸) 仕入	5,450,000
(借) 繰越商品	360,000	(貸) 売上原価	360,000
(借) 棚卸減耗損	4,800	(貸) 繰越商品	4,800

(借) 商品評価損	2,220	(貸) 繰越商品	2,220
(借) 売上原価	4,800	(貸) 棚卸減耗損	4,800
(借) 売上原価	2,220	(貸) 商品評価損	2,220

※1 期首商品棚卸高: ¥330,000(残高T/B繰越商品)

※2 当期商品仕入高: ¥5,450,000(残高T/B仕入)

※3 期末商品帳簿棚卸高: 450個(帳簿数量) × @¥800(帳簿価額) = ¥360,000

※4 棚卸減耗損: {450個(帳簿数量) - 444個(実地数量)} × @¥800(帳簿価額) = ¥4,800

※5 商品評価損: 444個(実地数量) × {@¥800(帳簿価額) - @¥795(正味売却価額)} = ¥2,220

(3) 減価償却

(借) 減価償却費	162,500	(貸) 建物減価償却累計額	50,000
		(借) 備品減価償却累計額	112,500

※ 減価償却費

① 建物減価償却費: ¥1,500,000(残高T/B建物) ÷ 30年(耐用年数) = ¥50,000

② 備品減価償却費: {¥600,000(残高T/B備品) - ¥150,000(残高T/B備品減価償却累計額)} × 25%(償却率) = ¥112,500

③ ¥50,000(上記①) + ¥112,500(上記②) = ¥162,500

(4) 特許権の償却

(借) 特許権償却	40,000	(貸) 特許権	40,000
-----------	--------	---------	--------

※ ¥280,000(残高T/B特許権) × 12か月 / 84か月(平成28年4月~平成35年3月) = ¥40,000

(5) 償却原価法の適用

(借) 満期保有目的債券	2,400	(貸) 有価証券利息	2,400
--------------	-------	------------	-------

※ {¥600,000(額面総額) - ¥600,000 × @¥98 / @¥100} × 12か月 / 60か月(平成27年4月~平成32年3月) = ¥2,400

(6) 退職給付引当金の設定

(借) 退職給付費用	60,000	(貸) 退職給付引当金	60,000
------------	--------	-------------	--------

(7) 消耗品の整理

(借) 消耗品	25,000	(貸) 消耗品費	25,000
---------	--------	----------	--------

(8) 利息の見越計上

(借) 支払利息	8,100	(貸) 未払利息	8,100
----------	-------	----------	-------

※ ¥900,000(残高T/B長期借入金) × 1.2% × 9か月(平成28年7月~平成29年3月) / 12か月 = ¥8,100

(9) 法人税等の計上

(借) 法人税、住民税及び事業税	133,000	(貸) 仮払法人税等	55,000
		(借) 未払法人税等	78,000

※ 法人税、住民税及び事業税: ¥55,000(仮払法人税等) + ¥78,000(未払法人税等) = ¥133,000

3. 貸借対照表（参考）

東日本商事株式会社		貸借対照表		平成29年3月31日現在		(単位：円)	
(資産の部)				(負債の部)			
I 流動資産				I 流動負債			
現金預金	1,054,200	支払手形	390,000	買掛金	580,000		
受取手形	400,000	未払費用	8,100	未払法人税等	78,000		
売掛金	671,000						
貸倒引当金	△ 21,420						
商用品	352,980	II 固定負債		長期借入金	900,000		
消耗品	25,000			退職給付引当金	210,000		
未収入金	700,000			負債合計	2,166,100		
II 固定資産				(純資産の部)			
1. 有形固定資産				I 株主資本			
建物	1,500,000			1. 資本金	3,500,000		
減価償却累計額	△ 400,000			2. 利益剰余金			
備品	600,000			(1) 利益準備金	120,000		
減価償却累計額	△ 262,500			(2) その他利益剰余金			
土地	1,080,000			繰越利益剰余金	745,960		
2. 無形固定資産				純資産合計	4,365,960		
特許権	240,000						
3. 投資その他の資産							
投資有価証券	592,800			負債及び純資産合計	6,532,060		
資産合計	6,532,060						